



はしば せいこう 橋場 清廣 議員

# 問 街路灯をLED化する考えは 耐用年数・費用対効果を含めて検討する



照明のLED化が議論された町中心部の街路灯

議員 平成16年に策定した、省エネルギービジョンの推進計画について伺います。

①省エネルギービジョンの、前期推進期間である16年から20年までの、実績と評価について。

②前期の評価を受けて、今年度策定する後期計画について。

③中心市街地の街路灯に発光ダイオード「LED」を導入できないか。

町長 省エネルギー推進計画は、16年2月に策定した、葛巻町省エネルギービジョンの中で、省エネルギー推進施策の方向を位置づけたものであり、計画に沿って取り組みました。

①実績と評価については、次の7つの重点項目を掲げて取り組みました。

1、省エネの普及啓蒙活動  
2、役場庁舎内の省エネ  
3、小学校・中学校の省エネ

家庭用省エネルギー設備導入実績

項目	実績	導入数(台)	補助金額(千円)
太陽光発電		23	2,823
太陽熱利用		5	400
ストーブ		55	3,506
自動車		8	557
その他		58	3,367
合計		149	10,653

※千円未満切り捨て

4、グリーンテージの省エネ  
5、畜産農家の省エネ  
6、個別住宅の省エネ  
7、エネルギー自給型住宅開発研究

全体的に、この5年間の評価は、普及啓蒙活動の成果で、省エネルギー設備を導入する町民が増加していることから、省エネルギーに対する意識が向上してきたと思います。

しかし、総合発展計画に掲げる目標値には達していないことから、新エネルギー等事業費補助金の交付や公共施設への設備導入を継続していきます。

②後期計画については、今年度5カ年の推進計画を策定しますが、前期に取り組み不足の項目があることから、さらに一歩踏み込んだ取り組みが必要と考えています。

前期7項目を基本にできるだけの取り組みやすく、目に見える形での目標設定と、新たな数値目標の設定や、身近な取り組みの掘り起こしについて検討していきます。

また、町民の意向を踏まえ、後期計画を策定します。

③街路灯などの公共的な照明設備のLED化については、従来の照明器具と比較すると値段は高いものの、寿命が長く、消費電力が少ないなどの長所があるほか、紫外

線の発生量が少ないことから、害虫を寄せ付けない効果もあると言われています。

このことから、公共施設の照明設備へのLED化については、積極的に推進していきます。

なお、既存施設については、耐用年数なども踏まえ費用対効果の観点も含めて検討していく必要があると考えています。

# 輝くふるさと常任委員会研修レポート

平成21年12月2日～3日・宮城県大崎市三本木ひまわり園・福島県南会津町伊南中学校体育館

直面する就学前教育・保育の在り方、老朽化した葛巻小学校体育館の建て替え工事にあたり、認定子ども園を運営する宮城県のひまわり園、木造体育館でカラマツ集成材を利用しての福島県伊南中学校体育館を視察し、注意点や特徴を学びました。

**保育園に幼稚園の機能をプラスするには、どうするか**

町では4月から保育に欠けない子(例 保護者が働いていない子)を葛巻保育園に入園できるように進めています。

本委員会では、初めての事業であることから、宮城県大崎市の三本木にある子育て支援総合施設ひまわり園を12月2日に視察研修しました。

合併する前の三本木町では、町立の幼稚園と保育園が各1施設あり、幼稚園の老朽化と保育園が手狭なため、待機児童の増加に困っていました。

これを解決するために幼保一元化して「全ての子どもたちに等しく教育を受けさせたい」という理念に基づき、平成20年4月1日にひまわり園を開園。児童交流センターも敷地内に整備し、子育て支援機能の集約化を実現していました。

**確認したい点**

○保母・教員による話し合いが行



森の中にいるような、やさしい木もれ日が入りそそぐ、ひまわりの園の遊戯室

われ就学前の保育・教育のあり方を十分に検討。

○定員300人に311人を受け入れ63人の教職員で対応。

○「生きる力」をもった子を育てるため、「食育」を推進し、地産地消を実施。

○短時間保育園児と長時間保育園児に対してこまやかな教育・保育を実施。

○木造による園舎整備「ひまわり」をイメージする外観。室内は木材を多用し、やさしく明るいデザイン。遊戯室は集成材を使用した大空間で、明るく心やすらぐ感じで防犯対策も取られ、安全で安心。

**カラマツ集成材を使った葛巻小学校体育館建設を**

本町は、広大なカラマツ人工林を持つ林業の町ですが、これまで教育施設は、鉄筋コンクリートなど非木造の体育館が建設されてきました。

本委員会では、22年に葛巻小学校の体育館が建設されるにあたり、木造体育館建設を望み、12月3日に福島県南会津町伊南中学校を視察研修しました。新潟県境に近い山あいの豪雪地帯です。

**確認したい点**

○木材産地の観点から地域材(カ

委員会への考え

カラマツ集成材を使った大断面工法は、木造のあたたかみややすらぎが伝わってくるような明るい施設建設が可能です。

今後は、木材の地産地消に取り組み、葛巻町の産業の活性化を図っていきます。

(町がバスを運行して、議員旅費は、自己負担で研修しました。)



カラマツ集成材を使ったあたたかさやすらぎを感じる、伊南中学校体育館